

郷住者ってどんなひと?
南相馬の
カッコいい
おとな手帖



Jターン

東京都 → 南相馬市

おとな手帖

No.15

地域との繋がりを大切に

デザインを通して社会問題の解決へ

今回のカッコいい大人

にしやま りか

西山 里佳さん(38)

福島県富岡町生まれ

お仕事 marutt 株式会社
アートディレクター

移住歴 2018年～



18 歳

専門学校へ進学。
グラフィックデザインを学ぶ

20 歳

東京で、
グラフィックデザイナーとして働く

32 歳

いわき市で
フリーランス
デザイナーとして
活動開始

33 歳

南相馬市の起業型
地域おこし協力隊
のコーディネーターに
着任。小高区へ移住

35 歳

marutt株式会社
設立



イベントの企画や運営も行う。



西山さんがデザインを手がけている「ぶくぶく醸造」。





西山さんに

Q & A

聞いてみた!



Q1. 「社会起業家」はどんな仕事をしている人なのか教えて下さい。

A. 社会起業家は「社会課題に対してビジネスをし、解決する人」のことを言います。社会課題はいろいろなジャンルがあり、解決する課題はそれぞれです。私にとっては「地方でクリエイティブやアートなどの文化が衰退していくことによる都市部との格差」が課題。それを解決するために、地方でデザイン事務所を立ち上げました。誰にでもふらっと立ち寄ってもらって、デザインやアートに触れる機会をつくりたいんです。

企業の広報物やロゴ制作だけでなく、アートに触れるワークショップを開催し、市内の人の「表現したい」気持ちをかたちにしています。また、南相馬市内のクラフト作家さん達とマルシェを開き、市内の人に知ってもらったり、つながってもらったりすることもしています。

Q2. 南相馬市に移住しようと思った理由と移住後の仕事内容を教えて下さい。

A. 起業型地域おこし協力隊「Next Commons Lab南相馬」の募集の記事を見たとき、福島の面白さを体現したプロジェクトに感じ、この制度を利用しました。新しいまちづくりが進み、いろいろな人が増えていることに可能性を感じたんです。

移住した後と前では仕事内容も変わりました。東京ではエンタメ系の仕事为中心で、広く人に見てもらうためのデザインを目指していました。南相馬ではデザインに限らず、何ができるかの説明から始めるため、仕事の幅が広がり、ジャンルにとらわれない活動ができるようになりました。

周囲に新しい動きも多いので刺激もある一方、目の前に田んぼが広がり、気持ちにゆとりのある暮らしは穏やかです。



わたしが記事にしました!



ふなだ
舟田 理歩
原町高校2年

編集後記



社会課題に対して問題意識を持ち、それをどう解決していくか思考することが、社会起業家の仕事では大切だと分かりました。デザイナーは人目を引くデザインをつくるだけでなく、みんなの表現したい気持ちをつくり育てていける素敵な仕事なのだなと思いました。



(西山さんの暮らし・仕事について
さらに詳しく!)

Webサイトの記事はこちら→



My favorite Minamisoma
南相馬のお気に入り

cafe' NicoNico-do'

カフェ ニコニコドウ

市外のファンもいる
人気店です!



鹿島区にあるニコニコドウさんがお気に入りです。アイシングクッキーを使ったホールケーキをはじめ、かわいくておしゃれなお菓子がおいしいです。納屋を改装してつくった店内も素敵なんです。[marutt で主催したイベント] にも出店してくれたのですが、あっという間にお菓子は完売。南相馬市外からもお客さんが来る人気店です。

OKINORI

移住者ってどんなひと？
南相馬の
カッコいい
おとな手帖 って？

南相馬市には他地域から移住し、自分らしくかっこよく働くおとなたちがたくさん暮らしています。

彼らが「今、ここにいる理由」はさまざま。夢を叶えるため、誰かと共に生きるため……。それぞれの物語を紐解いていくと、多様な南相馬の魅力に気づきます。

「移住者」に会いに行くのは、南相馬市で育った高校生たち。自分たちには当たり前な環境も、移住者のみなさんの視点を借りると、なんだか違って見えてくる！

Publisher：南相馬市役所 移住定住課

Direction：marutt Inc.

Editor：小野民、蒔田志保、舟田理歩、藤木千尋、大井紀葉

Designer：高木市之助

Photographer：鈴木宇宙

南相馬で自分らしい暮らしを
実践している先輩移住者がたくさん！

南相馬市 移住者インタビュー Webサイトはこちら→

